

### エピソード

Aちゃんが保育者と一緒に水たまりにできた泥をすくってギュッと握ったり、右手から左手へペタン、左手から右手へペタンと繰り返して遊んでいると、Bちゃんがやって来て「おにぎりになったね」と話しながら遊び始めました。Aちゃんが近くにあったビニールシートの上に泥をポトンと落とすと、泥が潰れたようにペチャンと広がりました。Bちゃんも同じように泥を落とし、面白くなったのか二人は何度も落として遊んでいます。すると、Aちゃんが「おーにぎりおーにぎり、ちよいとつーめて、ホイ!」と歌って泥を落としました。「キャハイ」と笑い声が起こり、楽しくなってきた二人は何度も声を合わせて歌っては、泥を落としています。だんだん声が大きくなり、体も大きく動いてジャンプしたり両手を大きくあげたりして泥をビニールシートに向かって落として遊んでいました。

### この場面での子どもの育ちや学び

おにぎりみたい  
(泥を握った感触)(握ってできた形)



おーにぎり おーにぎり ちよいとつーめて ホイ!  
(友達と一緒にのリズムが楽しい)



ポトン  
(友達や保育者と同じことをする楽しさ)  
(泥の触り心地を感じる)(落とした時の泥がペチャンと潰れて広がる面白さ)

- ・友達と一緒に歌に合わせて、すくった泥をビニールシートに落とすことを楽しいと感じている。
- ・思わず何度も繰り返したくなる歌やリズムであったことや、友達や保育者と一緒に遊んだことで楽しい気持ちが増える。

### 保育者の思い

- ・水をたくさん流すと水たまりができ、溜まった水やできた泥で遊ぶ子が増えてきたこともあり、いろいろな素材や用具で水や泥の感触を感じてほしいと思い、前日の遊びでできた水たまりの近くに、ビニールシートを敷いておきました。
- ・Bちゃんは、友達や保育者が近くにいることで安心し、「自分もやってみよう」と心が動いたのかな、と思いました。
- ・Aちゃんが泥を握ってできた「おにぎり」から思いついた歌がリズムカルで、歌に合わせて「ホイ!」と泥を落とすところが面白かったです。潰れた泥の形状の面白さや思わず口ずさみたくなる歌とリズムで、一緒にやりたくなる瞬間でした。リズムが合ったことで、その場に一体感が生まれ、だんだん体の動きが大きくなってきて、笑い声も大きくなり、楽しさを感じている場面でした。

### 家庭だったら・・・

水や泥に触れて遊ぶことが増える中、濡れたり汚れたりすることが嫌な子もいますが、友達や保育者が遊んでいる姿を見て遊びの場に少しずつ近づいたり、触れたりする姿を見ることもあります。「やってみよう」と心が動き始めているのかな、と受け止めながら、無理なく、楽しい、心地良いと感じながら遊んでほしいと思います。